



2024年6月14日

各位

会社名 株式会社ラックランド  
代表者名 代表取締役 野村 裕之  
(コード番号: 9612 東証プライム)  
問合せ先 執行役員管理本部長 磯部 伸弘  
(TEL: 03-3377-9331 (代表))

2023年12月期通期連結業績予想と実績との差異及び剰余金の配当(期末配当の無配)に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日付にて公表しました「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における2023年12月期の連結業績予想値と本日付の「2023年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表しました実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせします。

また、本日開催の取締役会において、2023年12月31日を基準日とする剰余金の配当を無配とすることを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期通期連結業績予想と実績値の差異(2023年1月1日～2023年12月31日)

(1) 連結業績予想と実績値の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 42,000	百万円 700	百万円 750	百万円 450	円 銭 43.99
実績値(B)	45,116	460	612	252	24.58
増減額(B-A)	3,116	△239	△137	△197	――
増減率(%)	7.4	△34.2	△18.4	△44.0	――
(ご参考)前期連結実績 (2022年12月期)	41,027	△312	97	△168	△16.63

注) 当社は、本日付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2022年12月期の連結実績の訂正を実施しておりますため、上記の「(ご参考) 前期連結実績(2022年12月期)」の数値については、本日付で関東財務局へ提出した「有価証券報告書の訂正報告書 第53期(2022年12月期)(自2022年1月1日至2022年12月31日)」に記載の数値を記載しております。

(2) 差異の理由

2023年12月期通期業績実績値は、2023年2月14日付の連結業績予想値（以下「期初業績予想」といいます。）と比較して、売上高は、大型案件を含め受注環境が好調であることを主たる理由として、期初業績予想を上回りましたが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、主に工事進行基準（履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法）案件において、物価高の影響を受けたことを主たる理由として、下回りました。

2. 剰余金の配当の内容

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2023年2月14日公表)	前期実績 (2022年12月期)
基準日	2023年12月31日	同左	2022年12月31日
1株当たり配当金	0円00銭	15円00銭	15円00銭
配当金総額	—	—	153,447,450円
効力発生日	—	—	2023年3月31日
配当原資	—	—	その他資本剰余金 (注)

(注) 純資産減少割合 0.020

(2) 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと考え、配当については、安定的な配当の継続を基本とし、業績動向及び今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を総合的に勘案し決定する方針を採用しております。

上記1(1)や、本日付「2023年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表しましたとおり、2023年12月期の親会社株主に帰属する当期純利益は黒字となったものの、第54期(自2023年1月1日至2023年12月31日)有価証券報告書に記載のとおり、当期の個別業績にて当期純損失を計上したこと、及び個別財政状況の繰越利益剰余金が少額であること等を鑑み、誠に遺憾ではございますが、2023年12月期の期末配当を無配とすることと致しました。

3. その他

当社は、2013年12月末を基準日とする株主優待を初回として、現在では、毎年2月末及び8月末を基準日とする年2回の株主優待を東日本大震災の復興支援の目的にて実施しております。株主優待制度の実施は、当社としての社会貢献の1つであり、今後も株主優待制度を継続して参る所存です。2024年8月末基準日の株主優待については、2024年8月上旬頃、当社ホームページ等にてご案内する予定でございます。

株主の皆様をはじめとする投資家、市場関係者及びお取引先の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

以上